

# 茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 東葉高速鉄道の債務超過245億円

### 事業継続のリスク

### 抜本的な債務削減 国に強く働きかけを

八千代市議会から新たに県議会を活動の場とした茂呂剛県議は9月県議会ですこそく一般質問に立ち、地元東葉高速鉄道の負債問題を取り上げ、多額の長期債務は、事業継続の根幹を揺るがしかねないとして、県に抜本的な対策を要望しました。このほか、子育て支援、防犯ボックス事業などを取り上げ、森田知事らに県の取り組みや方針を質しました。茂呂県議の質疑と、県執行部、県教育委員会の答弁を特集します。

#### 9月定例県議会一般質問



登壇し、一般質問を行う茂呂剛県議

茂呂議員 本年6月に公表された東葉高速鉄道株式会社平成26年度決算によれば、開業以来最高となる輸送人員を記録し、3期連続で50億円台の営業利益を確保するなど、同社の経営は順調に推移しているように見受けられる。

一方で、同鉄道は建設に多くの年月を要したことや、日本鉄道建設公団、現「鉄道建設・運輸施設整備支援機構」が「民鉄線建設方式」いわゆるP線方式を採用したことなどにより、現在でも機構に対し、約2790億円もの長期有利子負債を抱えており、245億円もの債務超過に陥っている。

この間、県や八千代市、船橋市は非常に厳しい財政状況の下で、多額の追加出資等の経営支援を行っているが、今後の金利上昇リスクを考えれば、同社の経営安定化のためには、有利子の長期債務を大幅に縮減することが不可欠であると思う。

こうした経緯や東葉高速鉄道が果たしている役割、同鉄道以降に建設されたつくばエクスプレス等では無償資金を充当し、鉄道事業者の負担を軽減する制度が創設されていることなどを踏まえれば、国は同社の機構に對する長期債務の抜本的な縮減や利

払いの軽減などの策を講じるべきだと思う。同社の経営問題については、本会議における質問でも、たびたび取り上げられているが、残念ながら、抜本的な対策はこれまで講じられていないものと理解している。

そこだろうかすが、鉄道・運輸機構に対する長期債務の削減や金利負担の軽減について、どのように取り組んでいくのか。総合企画部長 東葉高速鉄道の経営支援のため、県及び沿線市などでは、開業から平成26年度までに、約454億円の出資を行い、これを財源に、325億円の繰上償還を実施するなど、将来の金利負担の軽減を図ってきたところです。

なお、現在、平成19年度から28年度までを期間とする集中支援を実施しているところであり、平成27年度と平成28年度に合わせ40億円の繰上償還を実施する予定です。

また、鉄道・運輸機構が平成11年度から10年間、利子の1パーセント分を支払うことに伴い、機構が新たに調達する資金に発生する利子に対しても、国、県及び沿線市による助成を行っています。

茂呂議員 多額の長期債務を抱え、抜本的な債務削減を国に強力に働きかけるべきだと考えるが、どのように考えているのか。総合企画部長 東葉高速鉄道の経営は、依然として金利の動向に大きく左右される状態が続いていると認識しています。

このため、県では、鉄道・運輸機構に対する多額の長期債務の縮減や利子負担の軽減措置などの対策を講ずるよう、国に対し要望しているところであり、今後とも強く働きかけてまいります。

要望 茂呂議員 多額の長期債務は、事業継続の根幹を揺るがしかねない大きなリスク要因であり、県には、リスクが現実になる前に、抜本的な対策が講じられるよう、一層、尽力いただくよう要望する。

●県政に関するご相談を気軽にどうぞ

## 茂呂つよし 県議事務所

276-0046 八千代市大和田新田1092-7  
TEL 047-480-0244  
FAX

### 茂呂つよし・PROFILE

#### 略歴

- 1968年 八千代市に生まれる
- 1987年 八千代松陰高校卒業
- 1992年 秀明大学卒業
- 1992年 イワキ(株)勤務
- 2006年 八千代市議会議員当選
- 2010年 八千代市議会議員再選
- 2014年 第36代八千代市議会副議長
- 2015年 千葉県議会選挙当選

#### 現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会委員

# 保育所定員4800人増 今年度108施設整備

議場の首席で県の施策への要望を行なう茂呂副議長



ろです。

また、今年度は、県で実施する通常の保育士試験に加え、国家戦略特別区域法に基づく地域限定保育士試験を10月には実施し、受験機会の拡大を図ったところで

**要望** 茂呂議員 これまで以上に、ちば保育士・保育所支援センターの事業を広く周知し、保育士の確保に努めていただくよう要望する。

働く保育士の確保が急務。そこで、今年度、新制度が開始されたが、県内の保育所施設の整備はどのような状況になっているのかをうかがう。

健康福祉部長 本年4月の「子ども・子育て支援新制度」の開始に合わせ、新制度の実施主体である市町村では、地域の子育て支援ニーズなどを踏まえ、「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に施設整備を進めております。

茂呂議員 現在、本県では保育所の待機児童が多い地域を中心に、新たな保育所の整備が進められているが、なかなか待機児童が減らない状況だ。

さらに、施設整備が進み、施設の数が増える中で、今、職員、特に保育士の確保が大きな課題となっている。待機児童の解消とともに、保育の質をさらに向上させていくためには、保育所の施設整備とあわせ、そこで

必要となる保育士の確保に向け、県ではどのように取り組んでいるのか。

知事 県では、保育士を確保するため、平成25年8月に「ちば保育士・保育所支援センター」を開設し、「潜在保育士の再就職の斡旋や

今年度は、県内で108施設の整備により、約4800人の保育所定員増を見込んでおります。

茂呂議員 施設整備に伴い必要となる保育士の確保に向け、県ではどのように取り組んでいるのか。

知事 県では、森田地域の防犯力の強化と地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるための取り組みとして、平成25年11月から平成26年3月の間のモデル事業を行った効果検証によると、侵入盗の大幅な減少や防犯ボランティア活動の活性化、地域の治安評価の向上が認められるなど、住民が安心して暮らせるまちづくりと

3人の嘱託職員を配置して、運用を行っている。

その効果を検証したところ、犯罪の抑制はもとより、防犯ボランティア活動の活性化、地域の防犯意識の高まりなどの大きな効果が認められました。

今後、さらに多くの地域において、防犯ボックスを核とした地域防犯力向上への取り組みを広げていきたいと思います。

茂呂議員 市町村の理解と協力を得て、今後防犯ボックスが県下全域に展開されるよう今後一層の御尽力をいたたくよう要望します。

子育て環境の整備に向けては、保育所のハード面の整備も必要だが、担い手の確保、ソフト面の対策もより一層充実させていただくよう要望する。

茂呂議員 県では平成23年4月に平成23年度から10年間を見据えた県立特別支援学校整備計画を策定し、取り組みを進めている。この計画のつとめ、本年4月には私の地元八千代市を含む葛南地域でも、県立船橋夏見特別支援学校が開校した。

しかし、他の地域では過密化の解消に向けた施策を求める声があることから、折り返しを迎えた県立特別支援学校整備計画の取り組み状況も気になる。そこで、県立特別支援学校整備計画の取

り組み状況はどうか。

教育長 県教育委員会では、特別支援学校の児童生徒数増加による過密状況の緩和が喫緊の課題であると認識しており、平成23年3月に策定した県立特別支援学校整備計画に基づき、県立高等学校の使用しなくなった校舎等を活用するなどして、新設校や分校などの整備を進めております。

茂呂議員 八千代市内の道路問題についていかがう。

国土整備部長 八千代バイパスは、国道296号の交通混雑の緩和を図る佐倉市と八千代市にまたがる5・2キロメートルのバイパスであり、これまでに佐倉市内の2・9キロメートルを、八千代市内では0・7キロメートルを供用した

必要です。

このため現在、市町村に対し、モデル事業で明らかになった効果や課題を十分に説明するとともに、防犯ボックスと地域の防犯活動との連携のあり方や設置場所などについて意見交換を行っております。

茂呂議員 八千代広域公園の整備の進捗状況及び今後の見通しはどうか。

都市整備局長 八千代広域公園は、一級河川印旛放水路、通称新川の東側八千代市村上地先及び西側萱田地先で整備している、計画面積53・4ヘクタールの県立都市公園です。

平成26年度末時点の進捗状況は、事業費ベースで約75%となっております。

現在、村上側を優先的に整備しており、総合グラウンド、図書館・市民ギャラリーを八千代市が整備し、それぞれ供用開始したところで

県は、それらの施設整備に合わせ、周辺園路及び駐車場を整備してきたところであり、今後、残る園地・園路・トイレ等について、整備を進めてまいります。

茂呂議員 市民の様々な声にも耳を傾け、この公園が八千代市民はもとより、広く県民に愛される施設となるよう引き続き整備を進めていただきたい。

## 県立特別支援学校 平成29年度に1校新設

茂呂議員 県では平成23年4月に平成23年度から10年間を見据えた県立特別支援学校整備計画を策定し、取り組みを進めている。この計画のつとめ、本年4月には私の地元八千代市を含む葛南地域でも、県立船橋夏見特別支援学校が開校した。

茂呂議員 八千代市内の道路問題についていかがう。

国土整備部長 八千代バイパスは、国道296号の交通混雑の緩和を図る佐倉市と八千代市にまたがる5・2キロメートルのバイパスであり、これまでに佐倉市内の2・9キロメートルを、八千代市内では0・7キロメートルを供用した

必要です。

このため現在、市町村に対し、モデル事業で明らかになった効果や課題を十分に説明するとともに、防犯ボックスと地域の防犯活動との連携のあり方や設置場所などについて意見交換を行っております。

茂呂議員 八千代広域公園の整備の進捗状況及び今後の見通しはどうか。

都市整備局長 八千代広域公園は、一級河川印旛放水路、通称新川の東側八千代市村上地先及び西側萱田地先で整備している、計画面積53・4ヘクタールの県立都市公園です。

平成26年度末時点の進捗状況は、事業費ベースで約75%となっております。

現在、村上側を優先的に整備しており、総合グラウンド、図書館・市民ギャラリーを八千代市が整備し、それぞれ供用開始したところで

県は、それらの施設整備に合わせ、周辺園路及び駐車場を整備してきたところであり、今後、残る園地・園路・トイレ等について、整備を進めてまいります。

## コンビニ敷地の防犯ボックス効果 泥棒被害、大幅に減少 船橋、柏市にも設置予定

茂呂議員 県では、森田地域の防犯力の強化と地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるための取り組みとして、平成25年11月から平成26年3月の間のモデル事業を行った効果検証によると、侵入盗の大幅な減少や防犯ボランティア活動の活性化、地域の治安評価の向上が認められるなど、住民が安心して暮らせるまちづくりと

3人の嘱託職員を配置して、運用を行っている。

その効果を検証したところ、犯罪の抑制はもとより、防犯ボランティア活動の活性化、地域の防犯意識の高まりなどの大きな効果が認められました。

今後、さらに多くの地域において、防犯ボックスを核とした地域防犯力向上への取り組みを広げていきたいと思います。

茂呂議員 市町村の理解と協力を得て、今後防犯ボックスが県下全域に展開されるよう今後一層の御尽力をいたたくよう要望します。

茂呂議員 市民の様々な声にも耳を傾け、この公園が八千代市民はもとより、広く県民に愛される施設となるよう引き続き整備を進めていただきたい。

3人の嘱託職員を配置して、運用を行っている。

その効果を検証したところ、犯罪の抑制はもとより、防犯ボランティア活動の活性化、地域の防犯意識の高まりなどの大きな効果が認められました。

今後、さらに多くの地域において、防犯ボックスを核とした地域防犯力向上への取り組みを広げていきたいと思います。

茂呂議員 市町村の理解と協力を得て、今後防犯ボックスが県下全域に展開されるよう今後一層の御尽力をいたたくよう要望します。

茂呂議員 市民の様々な声にも耳を傾け、この公園が八千代市民はもとより、広く県民に愛される施設となるよう引き続き整備を進めていただきたい。